



# 2月の園だより

2021.2.10 発行

2月、3月、保育者は、子どもたちの成長を実感するエピソードにたくさん出会い、この子どもたちと出会えて良かったと心から思うことが増える時期です。

今年は、いつもと違う始まりとなり、不安を感じる時期が長く心配したこともありました。しかし、先週、年少さんの劇あそびウイークでは、ハラハラドキドキしながら楽しんだ絵本の登場人物になりきり散歩を楽しんだり、保育室で大型積み木を使って役を楽しんだりする姿があり、逞しく成長した子どもたちに感動をもらいました。

進級・入園と新生活に戸惑い、自分の思いを保育者に受け止めてもらいながら、安心して生活できるクラスの仲間と安心して表現できる場所が劇あそびでも見ることができました。今年は、クラス毎の活動が多く、安心して過ごす場所として、少人数での生活も大切なのではと気づかされた年となりました。未満児も保育者の連携があつてできることですが、小グループで遊んだり・小動物を見たり・保育者の手伝いをしたりと子どものやりたい思いに寄り添える小人数で過ごす生活のよさを感じています。熊本では、コロナ感染者も次第に少なくなってきましたが、あと少し注意して行動していきましょう。そのために行事も子どもだけの取り組みにしています。ご理解宜しくお願いします。

## 【園からのお知らせ】

### ● 3月の行事について

※コロナ対策を徹底して以下の行事を実施する方向で検討しています。

・未満児成長を喜ぶ会3/6(土)・各学年懇談会(年中3/22・年少3/23)・卒園を祝う会3/20(土)

予定はこの日程になっていますが、新型コロナウイルス感染症の関係で実施できない可能性もあります。

### ● アレルギー除去食をされている方へ

毎年1回申請書を更新していただき面談をさせていただいています。申請用紙を配布します。

書類の準備が出来たら、提出してください。こちらから面談の日程の相談をさせていただきます。

### ● 土曜保育利用申請される方

毎年申請書を提出していただいています。現在利用されている方には申請書を配布します。

新たに申請されたい方は担任まで申し出てください。

### ● 新学期用品について

・次年度在籍される皆さんに新年度用品の注文書を配布いたします。各学年によって必要な用品が違いますので注文用紙を確認してください。

・現在、2歳児の方は年少進級となりますので保育室の方に注文の期間、見本を提示し、担当の保育者が個別に対応するようにしています。説明が必要な方は声をかけてください。

・現1歳児(たんぽぽ組)さんは帽子(オレンジ色)・連絡帳3冊の購入。  
現0歳児(すみれ組)さんは連絡帳3冊のみ購入となります。

### ● 通園申請書について

・先日、次年度在籍する皆様へコドモンにて送らせて頂きました、次年度の通園申請書へのアンケート回答のご協力ありがとうございました。

アンケート結果をもとに、バスを利用される方へは後日通園申請書を配布させていただきます。その際にバスの往復利用・片道利用の確認をさせていただきますので、必ず通園申請書の提出をよろしく願いいたします。

## <事務局より 1号認定の方へ>

令和3年度の幼児教育・保育の無償化(預かり保育の利用料)に伴う施設等利用給付認定(新2号)申請希望の方は、期日までに書類の提出が必要となります。【提出受付は、認定希望月の前月15日まで】

本日、保育幼稚園課の資料を配付しております。詳しくは事務局までお尋ねください。

# 各学年の劇作り・劇あそびのとりくみ



ほくぶ幼稚園では、子どもたちに「絵本が大好きに」なってもらいたくて、入園時から「購読絵本」の購入にご協力をいただいています。1冊の絵本のお話の世界をクラスのなかまとたくさん共有し、そのお話の面白さの中でクラスの友達と遊ぶことが楽しくて・毎日「また、しよう!」と楽しめるようになった年少さん。この絵本のお話を「劇」にしよう!と なかまの力を合わせて一つの劇を作り上げようと取り組んでいる年中さん・年長さんです。これからの3週間で、またそれぞれのクラスでぐっと深まっていきます。1冊の絵本がもたらすお話の世界の中で、それぞれの年齢での仲間との関わりに一人一人の成長が見られ感動の日々です。

## 年少さんの劇あそび



年少さんの子どもたちは、各クラスで大好きな絵本の世界に入りこんで、日々保育の中で劇あそびを楽しんでいます。  
 「劇あそび」というように、年少ではとにかく遊ばせながら子どもたちが楽しさを発見することを大切にしています。

### ＜劇あそびのわらい＞

- ① 絵本の物語の世界を楽しむ。
- ② 役になりきって遊ぶことを楽しむ。
- ③ 友達と一緒に「ごっこ」の世界で遊ぶことを楽しむ。



年少さんの子どもたちとの劇あそびは、同じ絵本を題材にしても、毎回違っておもしろい!!のじ。話の基本的なストーリーはありながらも、その副産物「即興劇」のようにあかこれとエピソードが生まれ子どもたちから出てくる言葉や表現、アイデアも豊かになっていきます。



「明日はこの絵本で遊ばたい!」子どもたちはその日ごとにクラスの友達と担任の先生と



一緒にいろんな場面をつくり出し、気に入ったら何度でも繰り返して楽しむことができるのです。

今年はコロナの影響で、こんなに おもしろい 年少さんの劇あそびに参加していただけに、残念ですが…詳細はまたお楽しみにしてお伝えしたいと思っています。お楽しみに♡



お話の世界に入り込んでなりきっている劇あそびの1場面から。



## 年中 ぼんだぐみ・うさぎぐみ

ぼんだぐみ 『とんぼのうんどうかい』 作者：加古さとし

うさぎぐみ 『11ぴきのねこ ふくろのなか』 作者：馬場のぼる

どちらの絵本も仲間で力を合わせることの大切さを感じることが出来ます。

ドキドキワクワクするこの2冊は年中の子ども達にぴったりの題材です！

### ◆ねらい◆

- ・イメージを豊かに膨らませ、様々な表現で絵本の世界を楽しむ。
- ・友達に自分の考えや思いを伝えながら、クラス皆で作る経験をする。

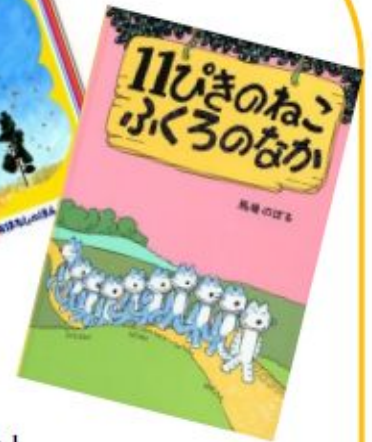
劇づくりを通してどんなことを子ども達に伝えたいか年中保育者で話してみました。

物語の世界の中で、役になりきることや道具を作ることをのびのびと表現してほしいね！

自分が表現するだけでなく、自分以外にも同じ役をする友達や違う役があって成り立つという楽しさや面白さがあるから、表現や言葉のかけ合いの中で、クラスの中の自分ということを感じてほしいね！

話し合いを通して、自分の意見を伝えたり友達の意見を受け入れたりしながらみんなで一つの事に向かって作り上げる経験をしてほしいね！という話ができました。こうして上記のようなねらいを立てて取り組むことにしました。こんな思いを抱きながら、保育者も子ども達と一緒に劇をつくっていきます。

各クラス子ども達の好きないくつかの絵本を遊んで楽しんでから、話し合っって題材の絵本が決定しました。決まった絵本を更に遊び込んで、どんな道具が必要か出し合い、何の役をしたいのか自分の思いを伝えながら配役を決め、いよいよ劇づくりスタート！！というところです。



# 年長 (5歳児) 劇づくり

題材を選びから始まり、子どもたちと  
「共に話し合い、自分たちがつくっていく  
その過程を「劇づくり」と呼び、  
今、取り組みの真っ最中ですよ😊



## ＜劇づくりのねらい＞

- ◎ 自分達を想像して、イメージを共有しながら劇づくりをする。
- ◎ 自立し、自律し、仲間と乗り越えていく。

年長の劇づくりは、これまでの成長・育ちをもとに、**1人1セツを言う**ことに挑戦します。各クラス28名、全員がその中で自分自身の異なる感情と出会いますが、ヒリヒリと大切に、みんなが劇づくりしていきたいと思っています。

## ぞう：青がえるの騎手



この絵本と出会い、**中国**と地球儀で場所を確認したり、中国の料理や服を調べたぞうさん。絵本の中にもある貧富の差についても、こうして劇づくりの中で世界の国についても知るきっかけになりますよ。

## きりん：猫山

劇づくりに使いたい場面を探し、子どもたちと決めました。ひびく音がなるくらいに... 「あ！川の流れる場面に使おう」等、場面をイメージして選んだ子どもたち、そんな音も劇の大事な役割のひとつです。



各クラスの姿より、抜粋して見せておきます。お互いのクラスの題材としている絵本を交換し、互いに見合うのも楽しいな年長さんです!!

